



隈府小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 隈府小」

隈府小学校
学校だより No6
文責 芹川博文
5月16日(金)

令和7年度隈府小
運動会テーマ決定

「仲間を信じて 自分を出し切れ みせろ 隈府の団結パワー」

素敵な運動会テーマが決定しました。各学級の意見をもとに児童会執行部で話し合い、「団のみんなの支えや協力が一人一人の力になっていくことを大切にしたい」という思いが込められているそうです。右のポスターからも気持ちが伝わってきます。

今週、ある先生から「子たちの力に感動しました」との話がありました。これまで練習に参加できていなかった子どもが初めて参加した際、近くの子もたちが次の動きを小さな声で教えてくれ、その先生が離れる時も「大丈夫です」と力強く言ってくれたとのこと。その先生曰く、「子どもの力ってものすごいですね」。仲間の言葉や行動で引き出される子どもたちの潜在力と可能性。練習の中にも数々のドラマと感動があります。

令和7年度隈府小学校運動会テーマ

仲間を信じて自分を出し切れ！

鬼せろ 隈府の団結
パワー！



子どもたちのあいさつに秘められた力



「是非、子どもたちをほめてあげてください。嬉しかったので。」あいさつのことで、今年度になって地域の方から3件もの嬉しい言葉をいただいています。1件目は、「歩いていたら、後ろから自転車で追い越す際、『こんにちは』と大きな声であいさつをしてくれた」とのこと。その方曰く、「後ろからあいさつをもらうことって、なかなかないです」。あとの2件は、「横断歩道で止まってあげたら、渡り終わった後、丁寧におじぎをしてくれました。運転していて気持ち良くなりました。また止まってあげたくになりますね」とのこと。

少し大袈裟かもしれませんが、子どもたちのあいさつには、地域の方の心をやさしく明るくする力があります。交通事故も減ることでしょう。地域の宝であり「未来そのもの」である子どもたち。地域の皆様の言葉に元気をいただきながら、あいさつの響く隈府小をめざします。

地域に学ぶ 思いに触れる

地域の歴史と文化、そして地域の方々の思いの温かさに触れた時となりました。

3年生の地域探検。交流会館では菊池一族の兜（かぶと）をかぶり、その後、人力車にも乗せていただきました。観光協会の黒田様、坂梨様、平山様による菊池一族の話、そして人力車による町興しをされている梅田様親子の姿から、子どもたちへの深い愛情と期待の大きさを感じました。

「校長先生が子どもの時もあつたんですか」と尋ねた子どもたち。隣の菊鹿町で育った私には全く経験はありません。菊池市の歴史の深さと、子どもの時に「本物」に触れることの大切さを改めて感じました。



レシートによる応援

菊池市第三セクター連絡協議会様より、図書券をいただきました。保護者の皆様や地域の皆様、物産館などに設置してある「隈府小のポスト」（左下の写真）にレシートを入れていただいたおかげです。

図書委員長の益崎 心菜さんと、副委員長の森 歩風さんは、「いただいた図書券で面白い小説や絵本、ジブリの本が欲しいです」と、キラキラした表情で答えてくれました。図書司書の末永先生も「大切にに使わせていただきます」とのこと。物産館に行くと「隈府小ポスト」には、さっそくレシートが入っていました。レシートによる応援、ありがとうございます。

